

漢字表記：石黒一雄

カズオ・イングロ

* 昭和29年11月8日 長崎市新中川町生

○ 略歴

- 昭和34年 (5歳) 海洋学者である父が英国政府に招かれたため家族で渡欧現地の小学校・グラマースクールに通う
- 昭和53年 (23歳) ケント大学英文学科に入学、小説を書き始める
- 昭和55年 (25歳) イースト・アングリア大学大学院創作学科に入学本格的な創作への第1歩となり、在学中に3つの短編をフェイスバー・アンドフェイスバー社の新人作家アンソロジーに発表
- 昭和57年 (28歳) 長編第1作「A Pale View of Hills」(『遠い山なみの光』)発表9か国語に翻訳される
- 昭和58年 (29歳) イギリスに帰化
- 昭和61年 (28歳) 長崎を連想させる架空の町を舞台に戦前の思想を持ち続けた日本人を描いた「An Artist of the Floating World」(『浮世の画家』)でウィットブレッド賞受賞
- 平成元年 (35歳) 「The Remains of the Day」(『日の名残り』)で英語圏最高の文学賞とされるブッカー賞受賞
- 平成7年 (41歳) 「The Unconsoled」(『充たされざる者』)発表
- 平成12年 (46歳) 「When We Were Orphans」(『わたしたちが孤児だったころ』)発表
- 平成17年 (51歳) 「Never Let Me Go」(『わたしを離さないで』)発表
- 平成21年 (55歳) 「Nocturnes: Five Stories of Music and Nightfall」(『夜想曲集: 音楽と夕暮れをめぐる五つの物語』)発表
- 平成27年 (61歳) 「The Buried Giant」(『忘れられた巨人』)発表
- 平成29年 (63歳) 「世界とつながっているという幻想的な感覚にひそむ深淵(the abyss beneath our illusory sense of connection with the world)」をあらわにしたこと等を理由として、ノーベル文学賞受賞

○ 主な受賞歴

- 昭和61年 Whitbread Book Awards 「An Artist of the Floating World」
(ウィットブレッド賞) (『浮世の画家』)
- 平成元年 Booker McConnell Prize for 「The Remains of the Day」
(ブッカー賞) (『日の名残り』)